

令和2年度 第14回 理事会議事録

日時：令和3年6月3日（木）19：00～20：50

場所：Web 会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林(司)、名取、平賀
北山、菊池、古屋、井村、大西、鈴木、有泉
(監事) 谷村、齋藤
(部長) 秩父、小林(泰)、秋山

書記：五味

会員管理情報

慶事 0 件 弔事 1 件 施設数 143

会員数 916 名 (施設 854 名 自宅 62 名)

I. 審議事項 (全3題)

1. 今後の士会組織について(有泉事務局長)

新代表の選出について法務局への届け出については二週間以内と決まっています。この理事会で小林会長に代わる会長の選出と職務代行を決めたいと思っています。本日決まった会長と会長代行の任期は小林会長の元々の任期である来年の総会（6月ごろ）までとなります。新会長の今後の遂行事業は、担当士会として合同学会の組み立て、50周年記念事業の組み立て、その他多くの事業への参加等があります。

磯野：会長代行としてお話をさせていただきます。小林会長の遺志を受け継いでこのメンバーで士会を作り上げていこうと考えています。

高村：とても大変な状況の中で小林会長も無念なところもあったと思います。遺志を受け継ぐことができるという点については磯野副会長がふさわしいのではないかと考えます。

三科：今までの状況で何かあったときは磯野副会長が代理を務めるということで行ってきました。お辛いとおもいますが私も磯野副会長を推したいと思います。

小林(司)：私も同じように思います

有泉：皆さん思いとしては同じように感じます。磯野副会長の考えもあるかと思いますが、残りの任期について磯野副会長が小林会長の遺志を受け継いで務めていただけたらと考えています。

磯野：ありがとうございます。残された任期についてこのチームで取り組んでいけたらと思います。

全員：異論なし。

有泉：職務代行者については副会長の3名から信任したいと考えています。順列で考えると高村副会長が適任だと思いますがいかがでしょうか。

高村：このような事態ですのでお引き受けしたいと思います。

結果

磯野副会長を新しい会長に決定し会長代理は高村副会長に決定した。

また会長職代行者のその後の順位については、三科副会長、小林司副会長の順となった。

・その他小林会長の業務の後任について

磯野：山梨リハケアの推進を考える会に小林会長、磯野副会長、大西広報局長とで参加していたがこちらについては今後どのように対応していくか。介護保険に精通している方がふさわしいと思いますがいかがでしょうか。

小林(司)：私でよろしければお引き受けします。

有泉：よろしいですか。小林副会長よろしくお願いします。他にありますでしょうか。

小林(司)：専門職団体協議会の小林会長の後任についてですが、磯野新会長が両会長を務めていただければと思っていますがいかがでしょうか。

有泉：規定上は副会長が務めるとなっていますがいかがでしょうか。

磯野：来週に協議会の理事会がありますが、合同学会まで日もあまりなく、ここで新任してもわからないままですすんでしまうので私でよろしければ務めさせていただきます。

有泉：よろしくをお願いします。

結果

山梨リハケアを考える会について、小林会長の後任を小林(司)副会長が務め、磯野副会長・小林(司)副会長・大西広報局長の3名で参加していく。

専門職団体協議会については両会長を磯野副会長が務めることとなった。

県のインクルーシブ会議について有泉事務管理局長が務めることとなった。

実習指導者養成研修協議会やその他の職務については今後検討して決定していくこととなった。

2. 年度末監査および総会議案集について(有泉事務局長)

議案集については理事の皆様には電子メールで送付し、各職場へは人数により割り当てた部数を送付させていただきました。5月14日に年度末監査を受けましたが、谷村監事、齋藤監事、いかがでしょうか。

齋藤：事業報告・計算書類等をみさせていただきまして、監査させていただいた結果法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していました。また、不正や定款に違反する重大な事実はありませんでした。今後の事業については、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として行ったWEB環境での事業の検証を行い、その経験を次年度の事業に活かせるよう提言を行いました。総括を谷村監事からお願いします。

谷村：今回繰越金は増加をしました。今後の対応について協会や各都道府県士会もいろいろと検討していると聞いていますので今後検討の必要が生じるか

もしれません。正式に磯野会長となった際には代表として皆さんを引っ張って行ってください。

有泉：これから理事の方々にご協力いただきたいと思います。よろしくお願いします。議案集について本日理事会として決定とさせていただきます。

内容の一部に修正が間に合わなかった点があるので総会までにまとめて、総会時に口頭にて訂正していきたいと思います。

結果

議案集について承認される。総会までに各局等で訂正部分があったら報告する。

3. 2021 年度理学療法の日における事業企画(案)について(大西広報局長)

7月17日の理学療法の日事業企画について、例年ですとショッピングモールでイベントを行っていましたが、今年度も新型コロナウイルスの影響で自粛せざるを得ない状況で、今年度は東京3紙の毎日新聞、朝日新聞、読売新聞での掲載を考えている。昨年度は協会から助成があったため山梨日日新聞への掲載を行ったが予算面から考えると今年度は難しいと考えています。昨日山梨日日新聞様より連絡があり、金額が44万円かかるとの説明がありました。今年度の広報部予算は43万円ですので厳しいと思いました。また、別日に連絡があり、例年イベントの枠として割安で掲載をしているがその枠自体はすでに埋まりつつあるとのこと。以上のことを踏まえて東京3紙での掲載が良いのではと思いますがご審議ください。

質問・意見

有泉：イベントが難しいことは承知しました。山梨日日新聞への掲載について枠はまだ残っていますか。

大西：昨年の例ですと理学療法の日以外に富士山の日などの枠があり金額面も割安になっていた。元々枠がない中で仲介業者から確認の電話が来たことで今回の審議事項とさせていただいた。仲介業者の話では交渉中とのこと。

有泉：金額のみでお話をすれば、なんとか可能な気がしています。50周年記念事業とも合わせて周知するという手段も一つ考えられますがいかがでしょうか。

井村：谷村監事からお話いただいたかと思いますが、地元新聞で発行部数も多いということで山梨日日新聞を利用してもいいのではないかと考えます。

高村：私も今の意見に賛成です。余剰金もあるということなので、しっかりと理学療法士を広報していくことは会員にとってもメリットになることだと思います。

機会については様々意見があるかと思いますが、年に1度でもこのような形での広報はあっていいのではないかと考えます。

北山：個人的な意見になりますが、50周年という記念すべき年にもなりますので、機会という面では年内に

掲載をしていくということで効果的になるのではないかと考えます。

大西：広報するためのチラシやグッズ費としても多少必要になってくると思われます。現在グッズは300個程あります。来年度にイベントやねりんピックで配布するとなると追加で作成する必要がある。

そのような部分も含めてご検討いただければと思います。

有泉：今年度グッズ作成費として13万円計上されています。この費用を合わせて43万円となっている。

50周年記念事業と合わせて行い広報は広報局にお願いするということでもいいのではないかと思います。

大西：50周年記念事業の際にも同じような企画で割安になるのかはわからないので、この額面通りかはわからないが、掲載するというだけで話を進めていてもよろしいでしょうか。

有泉：掲載する機会について引き続きリサーチをお願いします。

井村：特別企画での枠以外で掲載となるとどのくらいの費用がかかりますか。

大西：倍以上になります。正規の値段は表がないので言えませんがかなりの金額でした。

磯野：今回の理事会で決定しなければいけないものか。

大西：まだ東京3紙へは話をしていない。山梨日日新聞についても先日話をいただいたばかりなので猶予はあります。

磯野：わかりました。三科先生は50周年記念事業で新聞のことについて話がありますか。

三科：公開講座部の方にお任せをして記念講座の際に折り込みでチラシを配っていただく予定になっています。

磯野：理学療法の日と合わせて50周年ということ伝えるのであればこの値段でもいいのではないかと思います。

大西：同時に載せるということで昨年のデザインをそのままというより少し変更する点があると思うので、デザイン料等かかってくるのが予測されますのでご承知ください。

谷村：地元紙との関係性構築にもなってくると思いますので、検討をしてみてください。

大西：ありがとうございます。

結果

山梨日日新聞への掲載を行う予定。今後掲載する機会について検討していく

II. 報告事項

1. 各委員会等の報告

・50周年記念事業実行委員会より(三科委員長)

①協会の指針でステージ2となっており会場の収容人数は50人以下で県外からの参加は控えるということに

なっています。以上のことから招待は県内の関係者のみということになります。県外の方はオンラインでの参加をしていただくということでよろしいでしょうか。(以下、結果参照)

④祝辞に関しては山梨県知事、日本理学療法士協会会長、山梨県医師会会長の3名に依頼するということがよろしいでしょうか。(以下、結果参照)

⑤資料につきまして、小林会長の部分を磯野新会長の名前で発行したいと考えています。以前お話いただいた招待状について、2つ折りの返信用の物が望ましいということをお聞きしたが、どのようにすればよいか。(以下、結果参照)

質問・意見

有泉:別の県の士会から招待状をいただいた際に2つ折りの物が多かったのをそのようにした方がいいのではということでお話をしました。

④来賓については、追加で介護福祉会、介護支援専門員、医療社会福祉事業協会、山梨県理学療法連盟長の4名を考えていますがいかがでしょうか。(以下、結果参照)

質問・意見

古屋:自民党県連会長は辞任されたと聞いていますが。三科:確認してみます。

谷村:リハ病院施設協議会を30周年の際にお呼びした。現在会長は甲州ですか。

磯野:湯村です。

磯野:先ほどの追加された方は送らなくてもいいのではないかと考えていた。もし、追加するのであれば谷村監事のリハ病院施設協議会会長をと思っていた。

三科:わかりました。他にございますでしょうか。

有泉:ケアマネ協会の会長をされている鷺見会長をお呼びしたほうが良いと思います。

三科:わかりました。

⑤その他

その他フェイスブックの画像等ご確認いただきご意見等ありましたらいただきたいです。(以下、結果参照)

質問・意見

磯野:ポスターのできはとてもいい。小林会長の写真についてはこのまま残すことが可能か。

三科:前会長のままでということでしょうか。

磯野:前会長と新会長を載せて代表が変わったことを周知するような形で載せることが考えられます。素敵なポスターであるのでなるべくそのまま掲載したいと思っています。

三科:これから継続して使用できるように今回のデザインにしましたので、また担当の者に聞いてみたいと思います。

鈴木:祝辞の執筆依頼文書についてですが、お願い致し

ますではなく、いたしますとひらがな表記の方がいいのではないかと考えます。

三科:ありがとうございます。訂正します。

大西:同様ですが、写真についてはお願いしますで、祝辞についてはお願い致します等文面の中で統一感がないと感じました。

三科:ありがとうございます。修正します。

結果

①収容人数50名以下で県内の関係者のみ参加可能とする。県外の方はオンラインでの参加をしていただく。

②祝辞に関しては山梨県知事、日本理学療法士協会会長、山梨県医師会会長の3名にいただく。今後依頼をして検討いただく。

③招待状については形式等検討していく。

④来賓については、リハ病院施設協議会会長、ケアマネ協会会長の鷺見会長も検討していく。

⑤ポスターについて担当の者と検討していく。文面についても修正をしていく。

2. 部・局の報告

①学術研修局より(名取学術研修局長)

第1回学術研修会が7月25日にオンラインで開催予定です。時間は10時~13時を予定していて、帝京科学大学の豊田先生に講師をお願いして、内容は応用行動分析となっていますが、第2回の研修会と内容が似ているので、豊田先生と相談をさせていただき、装具療法における基本的知識というようなテーマとさせていただきます。

第2回学術研修会については8月を予定しています。オンライン開催です。高知リハビリテーション専門職大学の山崎先生による認知症患者に対する教育手法を応用した理学療法というテーマでご講義いただくことになりました。これは認知症対策委員会と合同開催とさせていただきます。

昨年度の研修費は無料となっていました。今年度はどのようにしていけばよろしいでしょうか。

質問・意見

有泉:研修会についてはこの通り進めていくということでもよろしいでしょうか。研修費については対面の時に徴収するということになっていたかと思います。

北山:そのようになっていました。

磯野:予算で計上していませんでしたか。

有泉:計上していますが、オンライン時は無料と備考に書いてあります。

磯野:わかりました。

結果

オンラインでの開催のため、費用は無料になる。

②社会局より(古屋社会局長)

山梨ダイハツ販売株式会社様より健康安全運転講座を開催予定でありましたが、甲府店は甲府市の準備が整わず中止、富士吉田店では新型コロナウイルス感染者が

急増したため中止となりました。次回9月に計画をしています。

③合同学術大会について(菊池学術大会局長)

5月28日に臨時で運営委員会を開催しました。早めたことについては通帳の名義変更や理事会の前に決定をしておきたいというところで開催に至りました。大会長については小林伸一会長の名前を残しつつ、大会長講演は磯野新会長に依頼をしています。また、開会・閉会のあいさつは副大会長に依頼をしています。開会は内山会長、閉会は山本会長にお願いをしようと考えています。

学術大会について参加申し込みが始まっていますので周知をお願いします。抄録についても発送済みになっています。6月中旬にリハーサルを行う予定になっています。大会長講演の際には追悼の意を込めて小林伸一会長の写真をスライドショーで流したいと考えています。もし、写真をお持ちの方いましたらよろしくお願いします。

磯野：大会長講演で小林会長が作成したスライドがあるますのでそれを軸に考えていきたいと思います。大会長は小林会長のままでお願いをしています。開会・閉会のあいさつについては両会長から承諾を得ています。スライドショーについては大会長講演の後に流そうかと考えています。今後3士会専門職団体協議会に理事会があるのでそちらで検討をしたいと思います。

Ⅲ. 事務管理局から(有泉事務局長)

1. 6月14日の定期総会について、会員の方にはウェビナーで視聴のみ可能ということになります。理事の皆様は発言することができます。その後の第1回理事会については6月22日(火)か29日(火)を考えています。局長の皆様には部長へ伝達をしていただくこともあり、困難ということであれば29日(火)にしたいと考えています。

2. メール配信について、5月31日の時点で619名の登録がありました。重複しているものとエラーメールが何件かあります。メール配信は今年で5件、昨年からは37件送信しています。

メール配信について登録には会員番号が必要になりますので新入会員の方は正式に番号が割り当てられてから登録をお願いします。

Ⅳ. 次回の理事会日程について

定期総会

日時 令和3年6月14日(月) 19:00～

場所 Web会議

理事会

令和3年6月29日(火) 19:00～

場所 Web会議

連絡 6月25日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。